

留学体験レポート

21015012 伊東茉優

1. はじめに

私は8月から12月までの約四か月の間、アメリカのノースウェストミズーリ州立大学に留学してきました。この大学で日本では体験したことがなかったことを経験することができました。そこで私は学校内での過ごし方について書きたいと思います。

2. 大学の特徴

私がノースウェストミズーリ州立大学に来て、まず思ったことはとにかく敷地面積が広いということです。加えて建物の数が多く、来たばかりのころは今自分がどこにいるのかわからなくなることが多くありました。寮から教室に行くにも徒歩で5~10分かかるようでした。自然も多く、リスを見かけることも頻繁にありました。設備は整っていて広い図書館、スターバックスコーヒー、売店、スポーツジム等があり、放課後や休日にそこで過ごす生徒も多いようです。学校の外はのどかな町並みが広がり、お店もいろいろあるので休みの日には探索に出かけることもありました。また、コンサートやちょっとしたパーティなど、毎日のように学校内でイベントがあり活気にあふれていました。

3. 授業について

授業は2~3クラスに分けて約15人で行われました。日本人生徒のほかには中国人、韓国人、サウジアラビア人、メキシコ人生徒もいました。みんな親切な人たちばかりで授業中や休み時間に会話をして仲良くなることができました。授業はリーディング、グラマー、スピーキング・リスニング、カルチャー、TOEICの対策と、英語漬けの毎日でした。宿題も毎日多く出るので英語に触れる時間が多くあります。先生も楽しく熱心に教えてくださったので、こちらも熱心に取り組むことができました。

4. CP・ABについて

ESLクラスでは、週に一回 Conversation Partner (CP) と呼ばれるノースウェストミズーリ州立大学の生徒と会話をする機会と、Activity Body (AB) と呼ばれるノースウェストミズーリ州立大学の生徒とイベントに参加する機会を設けています。もちろん英語で会話をするので、リスニング、スピーキング力がつきます。さらにアメリカの文化を教えてもらったり逆に日本の文化を教たりということもあり異文化交流にもつながりました。

5. 生活の仕方

ここではほぼ寮で過ごすこととなります。食事は学校の敷地内にあるユニオンというところでします。メニューも豊富ですが、四か月近くいるとたまには違うものが食べたくな

り、学校の近くにあるスーパーマーケットのウォルマートで食品を買うことも多々ありました。また、寮の地下には料理器具があるのでそこで自分たちでご飯を作り、食べることもできます。また洗濯機、乾燥機もいくつか設置されているので空いている時間に洗濯ができます。冬になると建物の中は暖房が効いて暖かいですが、外は基本摂氏0度を下回るので、暖かい恰好を心がけると良いです。日本よりも乾燥するのでその対策もあるといいと思います。

6. おわりに

留学した当初は日本とは違う環境に混乱し不安になることもありましたが、過ごしていくうちに楽しくなっていました。英語に対するモチベーションも以前より高まり、異文化にもたくさん触れる機会があり、友人ともさらに信頼できる関係になりました。振り返ってみて、この留学の体験は素晴らしいものになったと思います。